

3 国政選挙結果

(1) 令和3年4月統一補欠選挙・再選挙

令和3年4月25日、衆議院北海道第2区において補欠選挙（4月13日告示）が行われた。

同日、参議院長野県選挙区において補欠選挙（4月8日告示）が、参議院広島県選挙区において再選挙（4月8日告示）が行われた。

選挙結果は右のとおりである。

衆・北海道第2区（吉川貴盛君 2.12.22辞職）

立候補者数	6人	投票率	30.46%
当選人	松木 謙公君（立憲民主党）		

参・長野県選挙区（羽田雄一郎君 2.12.27死去）

立候補者数	3人	投票率	44.40%
当選人	羽田 次郎君（立憲民主党）		

参・広島県選挙区（河井あんり君 3.2.5当選無効）

立候補者数	6人	投票率	33.61%
当選人	宮口 治子君（諸派）		

(2) 令和3年10月統一補欠選挙

令和3年10月24日、参議院静岡県選挙区及び参議院山口県選挙区において補欠選挙（10月7日告示）が行われた。選挙結果は右のとおりである。

衆議院東京都第9区（菅原一秀君 6月3日辞職）、衆議院神奈川県第3区（小此木八郎君 7月18日辞職）及び衆議院広島県第3区（河井克行君 4月1日辞職）の欠員に伴う補欠選挙

については、公職選挙法第33条の2第6項の規定により実施されなかった。

参・静岡県選挙区（岩井茂樹君 3.5.14辞職）

立候補者数	3人	投票率	45.57%
当選人	山崎真之輔君（無所属）		

参・山口県選挙区（林芳正君 3.8.16辞職）

立候補者数	3人	投票率	36.54%
当選人	北村 経夫君（自由民主党）		

(3) 第49回衆議院議員総選挙

第49回衆議院議員総選挙は、令和3年10月14日に衆議院が解散されたことを受け、同月19日に公示、同月31日に投票が行われた。

立候補者数は、小選挙区が857人、比例代表が817人（うち重複立候補者623人）、計1,051人であり、このうち女性の立候補者数は計186人であった。党派別内訳は表1のとおりである。

競争率は、小選挙区で2.97倍、比例代表で4.64倍であった。

第49回衆議院議員総選挙の当選人数の党派別内訳は表2のとおりである。

自由民主党及び公明党から成る連立与党の議席数は、自由民主党259、公明党32、合計291

であった。

一方、野党各党の議席数は、立憲民主党96、日本維新の会41、国民民主党11、日本共産党10、れいわ新選組3、社会民主党1であった。

女性の当選人は45人で、前回の47人よりも2人減少した。

投票率は、小選挙区55.93%、比例代表55.92%であり、いずれも前回の総選挙（小選挙区、比例代表共に各53.68%）を上回った。

(表1) 党派別立候補者数

	小選挙区	比例代表	小計
自由民主党	277	310(251)	336
立憲民主党	214	239(213)	240
公明党	9	44	53
日本維新の会	94	96(94)	96
日本共産党	105	40(15)	130
国民民主党	21	27(21)	27
NHKと裁判してる党 弁護士法72条違反で	27	11(8)	30
れいわ新選組	12	21(12)	21
社会民主党	9	15(9)	15
支持政党なし		2	2
日本第一党		4	4
新党やまと		4	4
政権交代による コロナ対策強化新党		4	4
その他	89		89
計	857	817(623)	1,051

※ 小選挙区欄の立候補者数は、候補者届出政党による届出の数を掲げ、候補者届出政党以外の立候補者数は「その他」に一括して計上した。また、比例代表欄の括弧内は重複立候補者数(内数)であり、小計欄の数字はその内数を除いた数である。

(総務省「衆議院議員総選挙結果調」(令3.11.9)による)

(表2) 党派別当選人数

	小選挙区	比例代表	小計
自由民主党	187	72	259
立憲民主党	57	39	96
日本維新の会	16	25	41
公明党	9	23	32
国民民主党	6	5	11
日本共産党	1	9	10
れいわ新選組	0	3	3
社会民主党	1	0	1
その他	12		12
計	289	176	465

(総務省「衆議院議員総選挙結果調」(令3.11.9)による)

なお、自由民主党は10月31日、本表で「その他」として集計されている東京都第15区及び奈良県第3区の当選人を追加公認した。



初登院(第206回国会)